

# 関東・東北豪雨

災害に関する市からのお知らせ



赤行橋(落合地区)



古大谷川(豊岡地区)



道の駅「湯西川」付近



国道121号(龍王峡大橋手前)



国道121号(龍王峡大橋先)



県道黒部西川線(西川地区)

## 各地の総雨量

### 【今市地域】

大桑…594mm、瀬川…616mm

### 【日光地域】

日光…523mm、中宮祠…299mm

### 【藤原地域】

川治…550mm、五十里…600mm、  
中三依…574mm、横川…405mm

### 【足尾地域】

足尾…240mm

### 【栗山地域】

日向…634mm、野門…519mm、  
川俣…422mm

※数値は、9月9日(水)午前7時～11日(金)午前10時のものです

## 数十年に一度の大雨被害発生

9月9日(水)から11日(金)にかけて降り続いた台風18号などに伴う大雨により、市内でも大きな被害が発生しました。

今回の大雨は、台風18号から変わった低気圧や湿った空気の影響で、関東から東北にかけて「線状降水帯」が次々と発生したことにより、記録的な豪雨となりました。数十年に一度ともいわれる今回の大雨で、県では初めてとなる「大雨特別警報」

が発令されました。これを受け、市は10日(木)午前0時20分に災害対策本部を設置し、情報の収集と対策に当たりました。また、県では日光市を含む6市2町に災害救助法の適用を決定しました。

## 市内の被害状況

※数字は10月5日(月)現在  
市内では死者1名、負傷者4名の人的被害の他、住家被害(全壊9軒・半壊2軒)や床上浸水(124軒)・床下浸水(211軒)、一部損壊(10軒)などの被害が発生しました。

道路被害としては、藤原地域の国道121号や栗山地域の県道黒部西川線などが崩落により通行止めになった他、鉄道やバスなどの公共交通機関も土砂流出などの影響で一時運休となりました。

ライフラインなどの被害については、停電が17地区、断水が6地区に発生。また、市内各地域25施設に避難所が開設されました。

一方、市有施設は、学校施設(1校)や公民館(1カ所)、スポーツ施設(3カ所)、観光施設(11件)、浄水場(9カ所)などが、大雨による浸水などの被害を受けました。

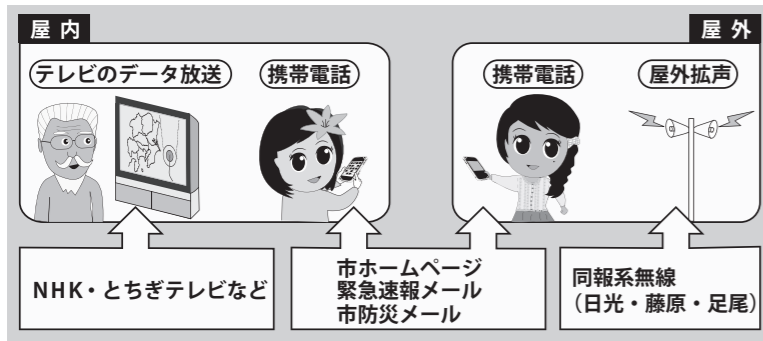


坂本地区(川治温泉)

## 災害情報の入手方法

市は、災害の発生時にさまざまな手段で情報を発信しています。主なものに、ホームページや緊急速報メール、市防災メール、テレビのデータ放送などが挙げられます。緊急時に携帯電話やスマートフォンなどに情報が届く、市防災メールの登録方法についてご案内します。

図：災害情報の入手方法



## 市防災メールの登録方法

### 1 QRコードを読み取る



### 2 空メールを送信する



### 3 返信されたメールから必要な情報を選択する



### 4 登録完了 ※緊急時にメールが届きます



市防災メールは、市内に発令された気象情報や地震情報などを、メールで携帯電話やスマートフォンなどに送信する無料のサービスです。  
※メールを受信するための通信料は、利用者の負担になります。



表示例

## 配信内容(以下の項目から選択できます)

### 【気象情報】

- 地震情報 気象警報・特別警報
- 火山情報 土砂災害警戒情報
- その他気象情報  
(竜巻注意情報や記録的短時間大雨情報など)

### 【災害関連情報】

- 避難情報(緊急速報メールでも配信)
- 警報などの発令時の災害関連情報  
(通行止め、交通情報、杉並木倒木情報、2時間を超える停電・断水の情報など)

## 登録はこちらから

### 【パソコンから】

<http://service.sugumail.com/nikko-bousai/member/>

### 【携帯電話・スマートフォンから】

touroku-nikko-bousai@sg-m.jp  
または右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。仮登録のメール受信後、本登録が必要です。



## 災害から身を守るために

災害発生時には、周囲の状況を確認し、早め早めの避難が重要です。ただし、夜間の豪雨による道路の冠水時や、土砂崩れなどの発生時に無理に避難すると二次災害の恐れがあり、危険な場合もあります。

日ごろから、家族で家の周りの山や沢などの危険な所を確認し、把握しておくことが必要です。さらに隣近所や自治会などの協力や連携が災害時に大きな力を発揮します。普段から協力できる体制を築いておきましょう。災害に対する備えは、「自助」「共助」「公助」の連携が大切です。

また、万が一に備え、崖や川から離れた2階の部屋などで眠るといったことも人的被害を未然に防ぐ知恵の一つです。

## くわしくは

総務課 危機管理放射能対策室

☎(21)5166